

改訂日 2015年03月06日

## 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	キノンドー顆粒水和剤
製品コード	AK4009J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂シヤスタースト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺菌剤)

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分外
	環境に対する有害性	水生環境急性有害性
	水生環境慢性有害性	区分1
	※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」	

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

## 危険有害性情報

**警告**  
**H302** 飲み込むと有害  
**H319** 強い眼刺激  
**H400** 水生生物に非常に強い毒性  
**H410** 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

**【安全対策】**  
**P264** 取扱い後は、よく手を洗うこと。  
**P270** この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
**P273** 必要な時以外は、環境への放出を避けること。  
**P280** 保護眼鏡/保護面を着用すること。  
**【応急措置】**  
**P301+P312** 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
**P330** 口をすすぐこと。  
**P305+P351+P338** 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
**P337+P313** 眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。  
**P391** 漏出物を回収すること。  
**【廃棄】**  
**P501** 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の

廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別  
成分及び含有量

混合物

[有効成分]

化学名又は一般名  
分子式(分子量)

8-ヒドロキシキノリン銅 (有機銅)

C<sub>18</sub>H<sub>12</sub>O<sub>2</sub>N<sub>2</sub>Cu

CAS番号:

10380-28-6

官報公示整理番号  
(化審法・安衛法)

化審法: 5-805

安衛法: 1-(1)-161

濃度又は濃度範囲

60%

[その他成分]

化学名又は一般名  
濃度又は濃度範囲

界面活性剤、鋳物質微粉等

40%

### 4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

### 5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類  
棒状放水

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。  
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具  
および緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

風上から作業し、風下の人を待避させる。

流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化方法・機材

回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、

<p>局所排気・全体換気</p> <p>安全取扱い注意事項</p>	<p>保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 粉塵の吸入を避けること。 適切な保護具を着用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 必要などき以外は、環境への放出を避けること。</p>
<p>保管</p> <p>接触回避 技術的対策 混触危険物質 保管条件</p> <p>容器包装材料</p>	<p>『10. 安定性及び反応性』を参照。 データなし 『10. 安定性及び反応性』を参照。 容器を密閉して保管すること。 施錠して保管すること。 データなし</p>

### 8. ばく露防止及び保護措置

<p>設備対策</p> <p>管理濃度</p> <p>許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)</p> <p>保護具</p> <p>呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p> <p>衛生対策</p>	<p>局所排気装置を設置すること。 設定されていない。 設定されていない。</p> <p>適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。 適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。 適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。 適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p>
---	--

### 9. 物理的及び化学的性質

<p>物理的状态</p> <p>形状</p> <p>色</p> <p>pH</p> <p>比重(密度)</p>	<p>細粒</p> <p>暗黄緑色</p> <p>8.3</p> <p>0.65(見かけ比重)</p>
---	---

### 10. 安定性及び反応性

<p>安定性</p> <p>危険有害反応可能性</p> <p>避けるべき条件</p> <p>混触危険物質</p> <p>危険有害な分解生成物</p>	<p>通常の条件下では安定。</p> <p>通常の条件下では安定。</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。</p>
--	--

### 11. 有害性情報

<p>急性毒性 経口</p> <p>経皮</p> <p>皮膚腐食性・刺激性</p> <p>眼に対する重篤な損傷・刺激性</p> <p>呼吸器感作性又は皮膚感作性</p>	<p>ラット雌雄：300 &lt; LD50 &lt; 2000 mg/kg</p> <p>ラット雌雄：LD50 &gt; 2000 mg/kg</p> <p>刺激性なし</p> <p>ウサギを用いた眼刺激性試験において、21日間の観察期間に完全に回復したため区分2Aとした。</p> <p>皮膚感作性：陰性</p>
--	--

### 12. 環境影響情報

<p>水生環境急性有害性</p>	<p>コイ: LC50 0.0237 mg/L (96h)</p> <p>ミジンコ: EC50 0.463 mg/L (48h)</p>
------------------	--

水生環境慢性有害性 藻類:ErC50 0.357 mg/L (72h)  
 急性有害性が区分1で、急速分解性がないため区分1とした。

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
 汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意**

国際規制 海上規制情報 IMOの規定に従う。  
 UNNo. 3077  
 Proper Shipping Name ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.  
 Class 9  
 Packaging group III  
 Marine Pollutant yes  
 航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。  
 UNNo. 3077  
 Proper Shipping Name ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.  
 Class 9  
 Packaging group III  
 国内規制 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。  
 特別安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
 重量物を上積みしない。

**15. 適用法令**

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 第1種指定化学物質含有  
 8-ヒドロキシキノリン銅:1-325  
 労働安全衛生法 第57条の2(通知対象物質):  
 8-ヒドロキシキノリン銅(政令番号:379)  
 農薬取締法 第23522号

**16. その他の情報**

財団法人 日本中毒情報センター  
 散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
 処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

- 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。